



【 ライオンズの誓い= われわれは知性を高め、友愛と相互理解の精神を養い、平和と自由を守り、社会奉仕に精進する 】

■ ライオンズクラブPR講演会 「西郷どんの魅力再発見」 1月30日(火)

明治維新150周年となる平成30年の鹿児島を盛り上げようと、ライオンズクラブのPRを兼ねて鹿児島市のみなみホールにて講演会を開催致しました。講演会についてTV・新聞・ラジオでも広く呼びかけました。

城山観光ホテルでソムリエとして勤務される安川あかね氏を講師に迎え、ライオンズ会員だけでなく一般の方々もたくさん来場し、西郷隆盛に関する興味深いお話をたっぷり聞く事ができました。

西郷どんプロフィール

諱(忌み名) 隆永・隆盛
通称 小吉・吉之助
号 南洲・武邦吉
変名 菊池源吾
大島三右衛門



西郷さん年表

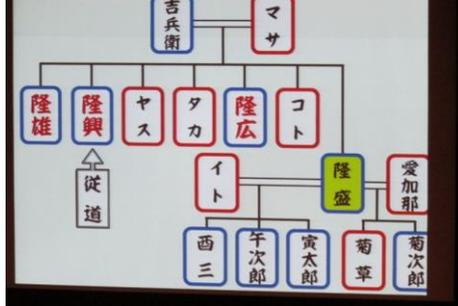
- 1827年 12月7日 鹿児島城下下加治屋郷中に生まれる。
- 1839年 隣り郷中の少年と小競り合いの末、右腕を斬られる
- 1844年 郡方書役助の役に就く
- 1852年 一度目の結婚(伊集院スガ) 両親が相次いで死去
- 1854年 島津斉彬(第28代当主)に見初められる
- 1858年 島津斉彬急死〜殉死を決意するも僧・月照に諭される
安政の大獄
僧・月照と共に錦江湾に入水自殺を図る
奄美大島に島送りとなる⇒愛加那と結婚




生年月日 1827年12月7日
(1828年 1月23日)
血液型 B型
身長 178センチ (5尺9寸)
体重 109キロ (29貫)
趣味 狩り 温泉
特技 烏賊の疑似餌作り・軍談
その他 無類の犬好き
鰻 豚肉 かるかん 沸騰散
自ら味噌・醤油を仕込んだ

西郷さん年表

- 1864年 召還命令により帰鹿 禁門の变が起ころ、長州征伐の処分を任せられる
- 1866年 坂本龍馬の仲立て 薩長同盟を締結
- 1868年 戊辰戦争が始まる 勝海舟と江戸高輪藩邸にて会見 江戸城無血開城を成し遂げる
- 1871年〜 廃藩置県・地租改正・学制発布 遺稿論が浮かび上がり、辞職し帰鹿 私学校設立
- 1877年 西南戦争勃発 別府晋介の介錯により自刃

人を相手にせず 天を相手にせよ 天を相手にして 己を尽くし人を咎めず 我が誠の足らざるを尋ねべし



■ 第3回キャビネット会議開催 2月23日(金)



第3回キャビネット会議は、沖縄県宜野湾市にあるラグナガーデンホテルにて開催致しました。会計報告や年次大会に関する報告が行われ、滞りなく終わる事が出来ました。

浦添ウエストライオンズクラブの25周年記念式典も一緒に開催され、沖縄の方々だけでなく鹿児島地区役員も参加したので、とても盛大なものとなりました。

第4回予定

2018年4月22日(日)

(於：鹿児島市/鹿児島サンロイヤルホテル)



鹿児島R. 冬期派遣学生帰国レポート



派遣国 メキシコ

『国際交流の橋渡しを』

YCE派遣学生 田原 まつり

(スポンサーC/鹿児島LC)



二〇一七年度冬季YCE派遣生として、十二月二十日から一月八日までの二十日間、メキシコのベラクルスに滞在しました。首都メキシコシティから東へ約四百キロに位置する港湾都市で、国内外から多くの観光客が訪れます。海外に一人で渡航するのは初めての経験だったので、期待よりも不安のほうが大きかったです。しかし、現地で出迎えてくれたホストファミリーの笑顔がその不安を吹き飛ばしてくれました。当初、最も気になっていたのがコミュニケーションの取り方でした。メキシコの言語はスペイン語で、英語しか学んだことのない私にとっては未知の言葉。ただ、少しは英語も理解してもらえたので、あとは笑顔とジェスチャーでフォローすることができました。



年末年始の時期だったので、異国の年越しやお正月の過ごし方には興味がありました。年越しは、日本であれば蕎麦を食べるのが一般的ですが、メキシコでは年越しの時間に合わせて十二粒のぶどうを一人ずつ準備します。スペインの植民地だっ



た頃からの伝統らしく、家族全員が一年間(十二か月)を健康で幸せに過ごせるように願いを込めて食べるそうです。私も日本からのお土産を兼ねて、けん玉と福笑いの遊び方を伝えました。家族みんなで楽しんでくれ、特に福笑いは大人も子供も一緒になって大爆笑。笑顔あふれる時間を過ごすことができ、気付けばあっという間のお正月でした。

生活する中で戸惑ったことのひとつが食事です。量の多さはもちろん、外食に出掛けることも多く、何よりもその時間帯が日本とは大きく異なります。夜十時以降に夕食をとることも普



通なようで、生活のリズムを合わせるのに少し苦労しました。主食のトルティーヤは、すり潰したトウモロコシからつくる薄焼きパンのようなものです。独特の風味で、慣れるまで時間がかかりました。



ホストファミリーは、サン・ファン・デ・ウルア要塞やエル・タヒン(世界遺産登録のピラミッド)も案内してくれ、メキシコのさまざまな歴史に触れることができました。まだまだ知らない世界が多く、もっと他の国も訪れてみたいと強く思いました。

YCEプログラムの大きな目的は、「世界の人々との間に相互理解の精神を培うこと」。異国の人々や文化に接し、改めてその大切さを実感することができました。この貴重な経験を活かして、将来はそんな橋渡しができる仕事に就きたいと考えています。(原文記載)





派遣国 オーストラリア



『オーストラリアでの体験』

YCE派遣学生 大牟礼 さくら

(スポンサーC/指宿LC)

今回、オーストラリアでのホームステイで私は多くの事を学び、とても良い経験をしました。今回、オーストラリアに行くことは、私にとって初めての海外でした。楽しみな反面、ホストファミリーはどんな人かな、仲良くなれるかな、オーストラリアのご飯に慣れることができるかな、などの不安も大きかったです。しかし、羽田空港に着き、一緒にオーストラリアに行く仲間たちと話をしていると少しずつ不安がなくなっていき楽しみという気持ちが大きくなっていました。そして、シドニー空港に着き、みんながそれぞれの場所に行くとき、「お互い頑張ろうね。楽しもうね」と言い合ってそれぞれの場所に向かいました。



オーストラリアは本当に自然が豊かで、すごく素敵な国でした。日本とは違う様々な文化もみることができました。オーストラリアには、色々の国から人が移住してきているため、行く場所によって、店の雰囲気や料理が全然違いました。

ホームステイに行ってもまだ最初の頃、私はホストマザーに自分の気持ちをはっきり伝えることが怖くて、嫌いな食べ物を嫌いと言えなかったりして、具合が悪くなり、お腹をこわしてしまいました。そこからは、自分の気持ちはちゃんと伝えようと思って伝えるようになりました。

日本人は自分の気持ちを抑えたり遠慮をして言わなかったりするけど外国人は自分の気持ちををはっきり言うので、怖がる必要もありませんでした。

英語は、最初は何を伝えようとしているのか全然分からなくて本当に困りました。だけど、生活をしているうちに聞き取れるようになり、自分の喋っている英語もだんだん理解されるようになり、英語で話すことが楽しくなってきました。また、オーストラリアで働く日本人を見ると、カッコいいな、私もこんなふうになりたいと強く思いました。英語の勉強をがんばろうとおもいました。



このホームステイをとおして、素敵なホストファミリーに出会うことができ、日本のよさを改めて実感できたり、何より教科書では学べないことがたくさん学べました。本当にいい経験ができました。ライオンズクラブのみなさん、家族、一緒にオーストラリアに行った仲間たち、私がオーストラリアに行くにあたって協力してくれたみなさんに本当に感謝しています。こんなに素敵な経験ができたことは私の人生にとってとても大きいことだと思います。

また、絶対にお世話になったホストファミリーに会いに行きます。本当にありがとうございました。

(原文記載)



派遣国 マレーシア



『忘れられない思い出』

YCE派遣学生 壺崎 恵理奈

(スポンサーC/鹿児島黎明LC)

私は約三週間、マレーシアでホームステイをさせていただきました。その三週間は、何でも初めてで、今までで一番の思い出となりました。ホームステイが決まってからは、本当にマレーシアに行くのかと半信半疑になるくらい不安でしたが、青い制服を着た時にやっと実感がわきました。初めは吹奏楽コンクールに出場するときくらいの緊張で日本人とでさえもうまく話すことができないうくらいでした。ですが、マレーシアでの三週間は緊張と不安が嘘のように楽しい時間ばかりでした。



クリスマスの夜は国独特なお祝いで泡まみれになって、ドリアンを食べさせられて、新年を祝う花火を見て、買い物に行ってお飯を食べて、言葉で上手く表すことができないうくらい楽しい日々を過ごしました。



その中で一番忘れられない出来事がありました。空港でパスポートを見せた後、マレー系の方だったのでトリマカシとマレー語で「ありがとう」と伝えるとすごくびっくりした表情でサマサマ(マレー語でどういたしまして)と返してくれました。相当嬉しかったようで手を振ってバイバイしてくれました。ささいなことでしたが、すごく繊明に覚えていて、私もマレー語を勉強していて良かったと嬉しく思いました。



私は、この間英検で準2級を受けました。その面接の時の1つの質問が「英語の他に外国語を学ぶことは大切ですか」という内容でした。私は「いいえ」と答えましたが、それは間違っていたのだとこの時思いました。

次は、英語はもちろん中国語、マレー語をさらに理解できるようになってからもう一度マレーシアを訪れたいです。

マレーシアに行ってみて感じたことは、コミュニケーション力が大切だと思ったことです。私は、上手に英語を話すことができるわけではないですが、目を見てジェスチャーと単語で通じる場面もありました。私の将来の夢はコミュニケーションが大事なブライダルヘアメイクです。ホームステイの経験をいかして頑張ろうと思います。



(原文記載)



派遣国 マレーシア

『初めての海外で感じたこと』

YCE派遣学生 福丸 流星

(スポンサーC/鹿児島黎明LC)

この度、私は初めての海外に大きな不安と緊張のなか出国の日を迎え、YCE派遣生としてマレーシアへ行かせていただきました。福岡空港で各地区の派遣生とマレーシアへと向かうなか、同じ日本人、ましてや同じ高校生たちであっても緊張から、なかなか自分から話しかけたりすることも上手く出来ず、現地についてさらに言葉の違う人たちやホストファミリーの方と会話ができるのか、一緒に過ごす事ができるのかなど、さらに不安と緊張は増すばかりでした。しかし、私の不安や緊張はシンガポール空港に着き、さらにクアラルンプール空港に降り立ったとき、目に映る光景や、音、雰囲気ワクワク・ドキドキ感となり、様々なものに心を引き寄せられる感情に変わっていったことを思い出します。空港はとても近代的でありながら、緑が多く、とても広い空港でした。調べてみるとクアラルンプールは日本人の有名なデザイナーの方が設計をされているようでした。



クアラルンプール空港に着くとホストファミリーのキムさん方に笑顔で出迎えていただきました。私はその笑顔を見た瞬間になぜかホッとしたのを覚えています。初対面の人と接することが苦手な私は、言葉も文化も違う人たちとどのようにコミュニケーションをとれば良いのかなど、当日までずっと考えていましたが、キムさんファミリーの笑顔はその考えを取り除いてくれました。それは、この後のホームステイ中でのキムさんファミリーとの生活や交流会などでの沢山の人たちとの関わりで少しずつですが理解できるようになりました。

マレーシアに着き、次の日から現地のライオンズクラブ生とのキャンプがあり、自己紹介や日本、マレーシアの民族衣装や踊りなどをお互いに披露したりと、とても楽しい時間を過ごす事ができました。まだまだ、自分から話しかけることができなかつた私に、皆笑顔で、ゆっくりと英語を話し、身振り手振りで私とコミュニケーションを取ろうとしてくれました。私も段々と苦手である英語で気持ちや思いを伝えることが、相手の方に対する誠意だと思い頑張っただけで自分からも話しをするように努めました。そうすることで不思議と自分の表情が柔らかくなっていったような気がしました。私はキャンプ初日から体調を崩してしまい、部屋で休むこともありましたが、そんな時でも、皆私に笑顔で声をかけたり、心配をしてくれました。キャンプも終わる頃には、ずっと同じクラスで過ごしていたような、自分の学校の友人関係のように、普通に自分から話しかけたりすることができていました。



ホストファミリーのキムさんたちは、年末のとても忙しい中、私を受け入れていただき、それだけでも感謝していたのに、私を旅行に連れて行ってくださいました。マレーシアの生活では日本とは違い三食とも外食をすることに驚き、また派遣前の話しに聞いていた、食事が辛いこともその通りで、私にはとても辛く感じる食べ物が多かったのを覚えています。食事の際に、フォークとナイフなどで食べることが一般的なようでしたが、キムさんはお店の人に頼み、私に箸を準備してくれました。キムさんの家で過ごす時間はまるで私も本当のキムさんファミリーの1人のように感じ、何気ない話しをしたりすることもある一方で、とても私を気遣い、丁寧にゆっくりと英語で話しをしてもらったりと、人の温かさを感じることもばかりでした。日本のアニメが有名で妖怪ウォッチのキーホルダーを弟にあげると、とても喜んでくれました。お礼にと私もなぜかポケモンの缶を貰いました。年越しを旅行先のシンガポールで迎え、バトゥ洞窟やオランダ広場など沢山の歴史的場所へも行かせていただきました。

今回の派遣で私は、マレーシアの文化、国民性など、とても日本では感じる事、知ることができなかった体験をさせていただきました。マレーシアは多民族国家であり、様々な民族の文化や生活スタイルなどを、お互いに侵すことなく、尊重し、時には融合しながら穏やかに生活をされているように感じました。そのため、国籍、言葉、民族などの違いに対して、決して否定をせずお互いを認めることから始まっているように感じました。そのため、私が初め、キムさんの笑顔を見たときになぜかホッとした感じを抱いたのは、このような背景があり、どのような人に対しても優しさを持っていたからだと思いました。当然これまでの歴史のなかで幾多の衝突はあったと思いますが、その結果、現在の姿があるのではないかと思います。私が今回、派遣生として行かせていただいた経験は、今後の私自身の人生において、とても大きな財産となり人間として大きく成長できるきっかけになると強く思います。また情報化社会の今だからこそ、もっと世界に目を向け、実際に現地に足を運び、物に触れ、そこから何を学び取るのかなど考え行動することが大切ではないかと思います。そして、自分には何が出来るのか、何をすべきかを考えることがこれからの課題となると思います。

あらためて、このような貴重な体験をできたのは、何度も事前学習をさせていただき、派遣に際し、ライオンズクラブの方々のご尽力、温かいご支援をいただいたからだだと思います。このような機会をいただき、ありがとうございました。

(原文記載)



(ライオンズクラブは、地域社会への身近な奉仕活動と国際的奉仕活動を行っています。)

【 ■ 鹿児島R. 1 Z /鹿児島中央LC 】 市内10LC合同献血運動(会員:2名参加)



市内10LC合同献血運動に参加しました。
於)フレスポジャングルパーク 11時～12時
7名の方に献血のご協力をいただきました。
(12月10日)

【 ■ 鹿児島R. 1 Z /鹿児島東LC 】 障害児「スクラム」餅つき大会(会員:3名参加)



障害児「スクラム」の餅つき大会に参加し、支援金の贈呈を行いました。
(12月26日)

【 ■ 鹿児島R. 2 Z /鹿児島南洲LC 】

南洲神社清掃(会員:15名参加)



第557回南洲神社清掃を行いました。
15名のライオンの他に一般参加5名。
(12月2日)

南洲翁に親しむ講演会開催(会員:34名参加)



末原裕子氏を講師に迎え(西郷どんを支えたおじよ
たち)の演題で語りました。
(12月7日)

南洲神社清掃(会員:30名参加)



2018新春南洲神社清掃を行いました。
(1月7日)

鹿児島少年軟式野球大会(会員:3名参加)



鹿児島少年軟式野球大会に協賛参加しました。
(1月28日)

【 ■ 鹿児島R. 2 Z /鹿児島南LC 】 知的障害施設と鹿児島南高校吹奏学部生との交流会(会員:4名参加)



知的障害者施設なごみ苑の利用者と楽器を
使って音楽を楽しむ事を目的とし、高校生と
の音楽を通して交流を深め、同時にクリスマ
スプレゼントを贈った。(12月26日)

【 ■ 鹿児島R. 5 Z /川内よさこいLC 】 児童養護施設にクリスマスプレゼント(会員:4名参加)



慈恵学園の子供たちにクリスマスプレゼントを贈った。玄関で幼児さんたちの笑顔の出迎えをいただいた。「なにかなあ、お菓子かなー」と嬉しそうにのぞき込んでいる姿がかわいい。施設長室にて慈恵学園の役員代表お二人に贈呈した。学園の子供たちが笑顔いっぱいの楽しいクリスマスになるように願って・・・。
(12月24日)

【 ■ 鹿児島R. 5 Z /串木野LC 】 串木野養護学校冬のお楽しみ会訪問(会員:34名参加)



毎年恒例の串木野養護学校冬のお楽しみ会訪問を実施しました。バンビの会の読み聞かせやサンタさんからのプレゼントに子供たちはとても喜んでいました。(12月7日)

第19回串木野ライオンズクラブ学童親善ドッジボール大会(会員:40名参加)



いちき串木野市内の3年～6年生の12チームが参加して熱戦が繰り広げられました。
(12月10日)

【 ■ 鹿児島R. 5 Z /川内なでしこLC 】

鹿児島市立病院様へタオル帽子の発送(会員:2名参加)

会員手作りのタオル帽子を癌患者様に使っていただく為お送りしました。今回は、鹿児島県立東高校の生徒さんより、手作りのタオル帽子・メッセージ・写真を添えてクリスマスラッピングをしたものを送っていただいていたので合わせてクリスマスに届くように発送しました。前回済生会病院様に贈呈した新聞記事を家庭科の先生が目にとられ作成図・タオル帽子をお送りし、共感した生徒さんが作られました。この様にボランティアの輪が広がっていき会員一同大変うれしい話題になりました。
(12月22日)



【 ■ 鹿児島R. 5 Z /川内第一LC 】 姉妹提携盟約の記念植樹(会員:13名参加)



2006年に友好盟約を締結し、交流を続けてきた下関響灘ライオンズクラブと明治維新150年の記念すべき今年、姉妹提携調印式を行った。それを記念し、共同アクティビティとして下関市民の森において植樹をした。
(1月27日)

【 ■ 鹿児島R. 7 Z /始良LC 】 いちごくらぶXmas会支援(会員:5名参加)



障害児を家庭で育てる親子が集まってXmas会を開催します。始良市脇本公民館で開催され、今年は紙芝居から始まりました。始良ライオンズクラブは楽しいXmas会になるよう支援金を贈り応援しました。(12月3日)

【 ■ 鹿児島R. 7 Z/始良LC 】 手紙の書き方(ハガキ寄贈)支援(会員:20名参加)

子どもたちの文字文化への接触を増やし表現力を付けて貰うために「年賀はがき 200枚」を始良市内の幼稚園、小学校、中学校に贈りました。(郵便局主催の手紙文化振興に参加しての活動です)。 (12月5日)



モラリティ・インクルーブメント・ミーティングへの参加(会員:2名参加)



子どもたちの道徳性向上について考える市教育員会主催の会議への参加でした。地域代表として始良ライオンズクラブから2名出席して有意義な意見交換を実施しました。 (12月13日)

始良市役所本庁玄関で、市民の皆様のご協力を得て献血活動を実施しました。おかげで「400mL×67名の献血」をいただきました。”採血者には鶏卵1パック/人”を贈りました。きっと困っている人のお役に立っています。ありがとうございました。 (12月22日)

寒い中の暖かい献血活動(会員:8名参加)



【 ■ 鹿児島R. 8 Z/志布志LC 】 クリスマス家族定例会(会員:18名参加)



毎年クリスマス家族定例会を開催しています。大人34人、子供22名、合計56名の皆さんと楽しいひとときを過ごしました。 (12月2日)

沖縄R. アクティビティ(活動)報告

12月～2月分

【 ■ 沖縄R. 1 Z/石川LC 】 第22回石川LC杯少年野球大会開会式(会員:9名参加)



毎年恒例となる石川LC主催の野球大会が今年も開会され、19チームが参戦し16日(土)には決優勝&準優勝が決定。 (12月9日)

第22回石川LC杯少年野球大会(会員:7名参加)



第22回石川LC杯少年野球大会の決勝戦が終了した後、閉会式を開催しました。優勝:石川スワローズAチーム 殊勲賞:石川スワローズチームの宇江城くん 準優勝:前原ルーキーズAチーム 敢闘賞:前原ルーキーズチームの田崎くん おめでとうございます。 (12月16日)

【 ■ 沖縄R. 1 Z / 石川LC 】

献血推進活動(会員:11名参加)



うるま市産業祭り会場にて献血推進活動を実施しました。また、献血へ協力した方々先着50名様へ宝くじのプレゼントを行い、大変喜ばれました。受付数77名 不適合者8名 献血者400ml 69名 骨髄バンク登録者1名 地区ドナー推進委員長L仲宗根が激励に訪れました。(感謝) (12月17日)

【 ■ 沖縄R. 3 Z / 首里キャッスルLC 】

首里城周辺清掃(会員:16名参加)



午前7:00~8:00まで首里城周辺清掃を実施。(12月17日)

支援金贈呈(会員:19名参加)

ボーイスカウト那覇12団、ガールスカウト第36団へ活動支援金を贈呈。(12月19日)



支援金贈呈(会員:19名参加)



沖縄県アイバンク協会、認定NPO法人アンビシャスへ支援金を贈呈。(12月19日)

【 ■ 沖縄R. 3 Z / 那覇北LC 】

NAHAマラソン給水奉仕活動(会員:7名参加)



NAHAMマラソン給水奉仕活動に参加した。(NAHAMマラソン参加数28,000人)。(12月3日)

レオクラブ  活動報告

1967年レオクラブ・プログラムがライオンズクラブ国際協会の公式プログラムとして、国際理事会により承認されました。地域社会の青少年に指導力(Leadership)、経験(Experience)、機会(Opportunity)を与え、地域、国、国際社会の一員としての責任を果たし、世の中に貢献できる人間に成長させるための地域奉仕をプログラムの基盤とし、その3つの頭文字を旗印に各クラブがそれぞれ特徴ある活動を展開し、現在世界においては140か国以上に6,500を超えるレオクラブが結成され、国際的なネットワークを構築しています。地区(鹿児島・沖縄)においては、2018年1月末現在 15クラブ 439名が活動しております。

R	(クラブ名)	(主な活動内容)	1月末 会員数	R	(クラブ名)	(主な活動内容)	1月末 会員数
■ 鹿児島R	さくらじまレオC (S.P. C/鹿児島LC)	地域清掃活動。献血活動。 ランニング桜島応援。	16	■ 鹿児島R	霧島レオC (S.P. C/霧島LC)	(活動休止中)	—
	種子島レオC (S.P. C/種子島LC)	種子島サセット車イマラソンボランティア。 EM団子河川への投入。	55		鹿屋レオC (S.P. C/鹿屋LC)	献血キャンペーン協力。 募金活動。	6
	城山ひだまりレオC (S.P. C/鹿児島城山LC)	環境保全(花の植え付け) 養護学校生徒への学習支援他。	9		フライングレオC (S.P. C/鹿屋第一LC)	募金活動。 (歳末助け合いなど。)	18
	久木田学園レオC (S.P. C/鹿児島さつまLC)	各種障害者スポーツ大会介助支援。特別 養護老人ホーム介護ボランティア。(定期的)	100		徳之島レオC (S.P. C/徳之島LC)	清掃活動など。	21
	川内レオC (S.P. C/川内LC)	ボランティアサークル主催。 清掃活動。	7		奄美高校レオC (S.P. C/名瀬LC)	スポーツCとの協働作業 その他奉仕活動。	66
	慈恵学園レオC (S.P. C/川内よきこいLC)	地域清掃活動他。	23		沖永良部レオC (S.P. C/沖永良部LC)	環境保全活動実施。 (カブミラ、公園清掃など)	51
	国分単人レオC (S.P. C/国分単人LC)	幼児サッカー大会献血キャンペーン。 登山清掃。老人ホーム慰問。	25		沖縄レオC (S.P. C/沖縄LC)	(活動休止中)	—
	第一幼児教育短期大学レオC (S.P. C/国分単人LC)	献血ボランティア。 清掃活動など。	42		地区計 (15C)		439(名)